

本カタログに掲載している製品内容は、部品としての品質範囲です。この部品を使用した最終製品の機能・性能・安全を保証するものではありません。

引違いドア 118F



扉厚	28mm
扉質量	33kg以下 (扉1枚当り) ※ ¹
製品仕様	□ 2、4枚扉仕様 (天井付け)

※¹ 扉サイズは扉質量を優先して決めてください。

下レールが不要で、施工が簡単な木扉用引違い金物。

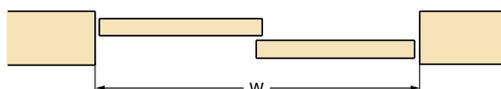
■特長

- 上レールには、扉の上面と上レールのすき間を隠す目隠しが付いているため、扉がすっきりと見えます。

■注意

- 扉開閉時の衝撃に耐えられ、扉質量に対応できる強度を持った枠に取り付けてください。強度のない枠は扉の動きを著しく低下させるばかりでなく、上レール①～④の脱落などを引き起こすことも考えられ、大変危険です。
- 扉が3方枠の縦枠に当たらない仕様の場合は、別途縦枠か戸当りを必ずご用意ください。
- 上レールは、必要な長さに切断し、切り粉などが上レール内部に残らないようきれいに除去してください。扉の静かな走行のために切り粉の清掃は重要です。

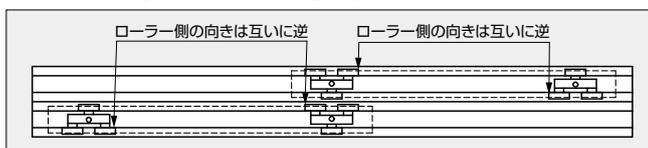
■開口部寸法



仕上間口寸法

- 2枚扉 W=扉幅×2-25mm
- 3枚扉 W=扉幅×3-50mm
- 4枚扉 W=扉幅×4-50mm

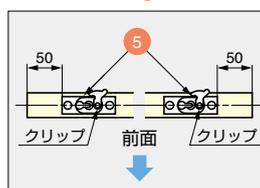
■上ローラー⑤、上ストッパー⑦の組み込み



- ・上ローラーおよび上ストッパー (4枚扉専用) は、必ず先に上レール①～④に入れてから、上レールを取り付けます (上ローラーのベースプレートは、クリップを緩めて上ローラーから外しておきます)。

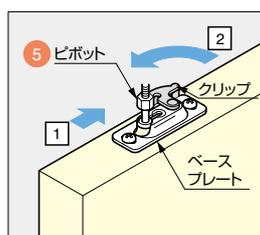
注) 扉の荷重が均等になるように、扉1枚に取り付ける上ローラーは、上図のように、ローラー側の向きが互いに逆になるように上レールに入れてください。

■上ローラー⑤のベースプレートの取り付け



扉木口から50mmの位置に取り付けます。クリップは扉の後面側にくるようにしてください。

■扉の吊り込み



1. 図のように上ローラー⑤のピボット (連結軸) をベースプレートのソケット部に差し込みます。
2. クリップを矢印のように回し、ピボットが外れないようにしっかり止めます。
3. 扉をスライドさせ、軽く動くことを確かめます。前扉も同様にして吊り込みます。

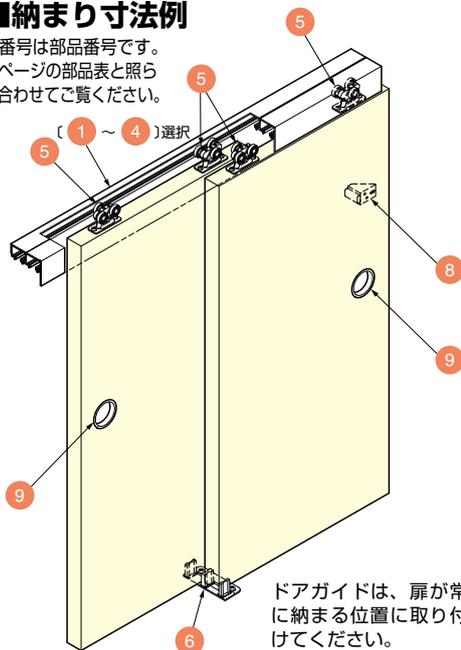
※² 扉の高さは-4mmから+4mmの範囲で調整可能。

輸入品のため、製品改良などにより予告なく寸法や材料の仕様変更を行う場合があります。念のため、現品にてご確認ください。



■納まり寸法例

丸番号は部品番号です。右ページの部品表と照らし合わせてご覧ください。



ドアガイドは、扉が常に納まる位置に取り付けてください。

4枚扉仕様

